

# 第2次黒部総合振興計画審議会

## 第4回第3部会【都市基盤】

### 議事概要

日時：平成29年8月2日（水）13：00～

場所：黒部市役所 203 会議室

出席者：委員5名（欠席1名）、専門委員2名（欠席なし）

幹事3名（欠席1名）、計画主任6名（欠席1名）、事務局3名

#### 次第

1. 開会
2. 部会長あいさつ
3. 報告事項
  - （1）前回審議会以降の経過について
  - （2）各委員からの意見・提言について
  - （3）個別事業一覧等の修正について
4. 協議事項
  - （1）基本構想（継続審議事項）について
  - （2）前期基本計画素案について
5. その他
6. 閉会

### 主な発言（検討）内容

○：委員からの質問・意見、●：事務局の意見・回答

#### 部会長あいさつ

○部会長：本日はご多用中にも関わらず、第4回部会にご出席いただき感謝申し上げます。本日の部会は基本構想の継続審議に関する事項と前期基本計画素案について審議いただく。これまでの部会と同様、活発に議論していきたいと思うので、ご協力をお願い申し上げます。

## 報告事項

(資料1：前回審議会以降の経過について、  
資料2：各委員からの意見・提言について、追加・差替資料について、事務局より説明)

- A委員：基本計画素案12ページの下水道の整備における「汚水処理施設整備率」の表現は「汚水処理人口普及率」とした方が適切な表現ではないか。
- 計画主任：ご指摘の表現に修正する。
- 部会長：修正に伴い、12ページに記載の計算式の修正は必要ないのか。
- 計画主任：計算式の修正は必要ない。
- 部会長：その他、意見が無いようであるため、協議事項に進む。

## 協議事項

(資料3：基本構想（継続審議事項）について、基本構想追加資料について、  
事務局より説明)

- 部会長：まず、土地利用方針についてであるが、本部会において、地域公共交通について議論してきた。市街地のにぎわいゾーンには地域交通サービスを提供する旨の記載はあるものの、市民の公共交通の利用促進に関する記載はないため、文言を入れても良いのではないかと思う。また、次の第2節に関することではあるが、地域交流連携軸と広域交流連携軸に関する文言もあっても良いとも思う。扇状地のめぐみゾーンには「便利で安全な地域交通ネットワークの整備を進めます」と記載があり、公共交通についての表現が市街地のにぎわいゾーンと扇状地のめぐみゾーンのそれぞれ個別に示されている印象を受けた。
- 事務局：市街地のにぎわいゾーンと市民が多く居住する扇状地のめぐみゾーンの公共交通の記載について、それぞれのゾーンを地域公共交通でつなぐ意味でも記載があっても良いと考えている。連携軸については、土地利用イメージ図では表現しきれておらず、表現を入れ込んだ方が良いということであれば、この場で具体的に議論していただきたい。
- B委員：海岸線の砂浜が時代とともに浸食され、劣化している。離岸堤や消波ブロックの存在が影響しているのではないかと思う。難しいことかと思うが、海岸線を保全する対策を講じて、次代に継承してほしいと思う。
- 部会長：砂浜の消失についての意見は、第1部会に関することであるが、重要な視点である。レクリエーション施設だけではなく、黒部市が有する海辺の魅力を継承して

いく文言を記載したほうが良いと思う。

- A委員：29ページの「河川・海岸環境の保全と整備」には、該当する記載はある。
- 部会長：第1部会の範疇かもしれないが、各委員の意見を踏まえ、検討してほしい。  
地域交流連携軸と広域交流連携軸についてであるが、断面図を見ると扇状地のめぐみゾーンに市街地のにぎわいゾーンが含まれているため、扇状地のめぐみゾーンに両者を積極的に活用することを追記してもよいと思う。具体的には、扇状地のめぐみゾーンには「北陸自動車道や北陸新幹線、国道8号等の交通アクセスの・・・」とあるが、ここに「北陸自動車道や北陸新幹線、国道8号等の広域交通アクセスの・・・」とすれば、広域と地域の二軸をうまく表現できるのではないかと思う。
- A委員：第1節は土地利用の話であり、第2節で連携させることを記載しているので、個人的には、このままの表現でも良いとも思う。
- 部会長：A委員の意見も踏まえ、事務局において検討してほしい。
- C委員：地域公共交通は北陸新幹線、あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道鉄、バスなどが該当するのか。
- 部会長：北陸新幹線は地域公共交通には含まれないかと思う。現在、地域公共交通の整備はされており、今後は利用促進をしていくことが必要である。本日もあいの風とやま鉄道を利用してきたが、生徒を迎えに来る自家用車が多く、生地行きのバスには誰も乗車していなかった。
- D委員：利便性の高い公共交通に向けた整備をこれまでも進めてきたが、マイカーの利便性には劣る。自分たちのバスという意識醸成に注力していくことが重要と思う。多少の不便はあるが、利用者の増加に伴い、収益が上がり、さらに利便性を高める整備につながるようなサイクルになってほしいと思う。
- E委員：あいの風とやま鉄道に接続するバスは、電車到着前に出発してしまうため、送迎の自家用車が多いのかと思う。なぜ、電車が到着する前にバスが出発するのか疑問である。
- 部会長：北陸新幹線のダイヤに合わせてバスダイヤを設定しているためである。思い切って、市民生活に合わせたダイヤに変更する考えもあるかと思う。
- F委員：北陸新幹線を利用して黒部に来訪した方がどの程度バスを利用しているのか把握されていると思うが、それが本当に黒部市にとって良いのか検討する余地があり、市民利用優先としても良いかと思う。また、公共交通が市内の各地域で運行範囲が区分され、それぞれがうまく連携していないようにも思う。宇奈月から黒部の市街地までは乗り換えが必要であり、利用者の利便性を高める改善が必要かとも思う。土地利用イメージ図には、明日キャンプ場や宮野運動公園のほか、ラフティングなどの黒部特有の資源も入れてみてはどうか。
- 部会長：そのとおりかと思う。また、市街地のにぎわいゾーンは市民生活をサポートするゾーンかと思うので、「利便性を高める」という表現をいれることを検討いただき

たい。では、次に第2節の「拠点と交流連携軸の設定」について意見をいただきたい。市街地のにぎわいゾーンの範囲が狭いと感じており、北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅まで範囲を広げることは検討できないか。

- 事務局：市街地のにぎわいゾーンは用途地域をベースに設定している。
- 部会長：考え方としては理解できるが、地域公共サービスのレベルの視点からみると、範囲が狭い印象を受けた。また、緑の点の大小について何か意図はあるのか。また、黒部市役所を緑の点にする意味や YKK センターパークを示している理由などもあわせて教えてほしい。
- 事務局：緑の点の大きさは意識して変えているわけではないため、修正したい。また、第1次総合振興計画から記載している施設等の位置などの見直しを行っている。YKK センターパークについては産業観光拠点として位置づける意味で示している。
- 部会長：市役所や黒部漁港など、地点として落としていると想定される施設については白丸表記としてはいかがか。
- 経済産業部長：黒部市役所は職員の職場もしくは市役所に用のある方が立ち寄るだけの施設ではなく、市民が集う交流拠点として位置づけている。また、くろべ牧場まきばの風においても組合運営から市の運営となり、観光牧場として位置づけているため今後、交流拠点として注力していく意図があり、緑丸としているはずである。
- 部会長：黒部漁港も同様か。
- 経済産業部長：そのとおりである。
- A委員：(仮称)くろべ市民交流センターは記載しなくても良いのか。また、土地利用イメージ図は実際のスケール感にあわせてレイアウトされていると思うが、そこにこだわらず、今後、活性化を図る市街地を目立たせるようにしても良いのではないか。
- 事務局：(仮称)くろべ市民交流センターは位置なども明確ではなかったため、位置づけていなかった。レイアウトについても第1次総合振興計画をベースに作成しており、現状の見せ方となっている。
- 部会長：A委員の意見に賛成である。第1次総合振興計画の時は北陸新幹線が目玉だったため、そこに重心が置かれたレイアウトになっているのかと思う。市街地や海辺の観光交流拠点を大きく見せたほうが良いと思う。
- C委員：海のきらめきゾーンの文中に記載されている石田フィッシャリーナや大島キャンプ場は入れ込んでほしいと思う。
- 事務局：ご意見を踏まえ、修正を検討したい。
- A委員：39 ページに(仮称)くろべ市民交流センターの記載があるが、土地利用イメージ図には反映できない事情があるのか。
- 事務局：6月議会で(仮称)くろべ市民交流センターの基本構想が議決されているため、市街地のにぎわいゾーンに入れ込みたい。また、土地利用イメージ図全体のレイアウトについても修正したい。

- 部会長：次に重点メニューについて、意見はないか。
- F委員：「県道などの整備促進」「都市計画道路の整備促進」には、背骨道路の整備は含まれていると理解すればよいか。
- 都市建設部長：どちらかの重点メニューに含まれていると理解いただければと思う。
- 部会長：その他、意見が無いようであるので、次に進む。

(資料4：前期基本計画素案及び今後の基本構想、基本計画の策定スケジュールについて、事務局より説明)

- D委員：1ページの公共交通環境の改善と利用促進に「一方で、高齢化の進行に伴い、自家用車の運転が困難となる高齢者が増加し、」と記載があるが、自家用車の運転が困難になる高齢者と運転免許証を自主返納する高齢者の増加に伴い、公共交通の需要が高まると表現しても良いと思う。
- 部会長：「高齢化の進行に伴い、公共交通の需要が高まる」とまとめた表現でも良いと思う。また、環境保全の視点も文言に加えても良いのではないかと思う。目標値には「路線バス、コミュニティ交通の利用者数」が挙げられているが、あいの風とやま鉄道等の利用者数も含まれているのか。
- 事務局：含まれていないため、バス6路線とコミュニティタクシーが該当する旨、示したい。また、鉄道利用者を含めていない理由については、黒部市が民間交通事業者の目標値を設定することは難しいためである。
- A委員：5ページの協働体制に「東山麓道路建設促進期成同盟会」は「東部山麓道路建設促進期成同盟会」の間違えではないか。また、先日の指摘において資料4-2に朝日宇奈月線改良事業に係る要望活動を追記しているので、協働体制に朝日宇奈月線改良促進期成同盟会を記載したほうが良い。11ページの下水道の整備についてであるが、現状と課題の「汚水処理施設整備率」の表現を先ほどの指摘に合わせ修正した方が良い。また、施策内容の「合併処理浄化槽の整備」には保守点検や維持管理の記載のみであるが、資料4-2には合併処理浄化槽の設置促進について記載されているため、設置促進の表現を入れておいた方が良いと思う。汚水処理施設整備率の数値について、私が持っている資料では平成24年度の値は92.9%となっているので事務局で正しい数値か確認してほしい。13ページの現況と課題には東山水辺公園が記載されているが、これまでの公園整備を含めて記載する考えであれば、誰もが分かる施設を記載してはどうかと思う。
- 部会長：ご意見を踏まえ、修正してほしいと思う。東山水辺公園についてはいかがか。
- 計画主任：東山水辺公園は第1次総合振興計画期間に整備した代表的な公園として記載している。
- 部会長：スペースが許されるのであれば、今、説明していただいた「第1次総合振興

計画期間中に整備した」等の表現を入れ込んでほしいと思う。

- 事務局：具体的な整備時期を入れ込むなど、修正したい。下水道の整備の「合併処理浄化槽の整備」については、スペースの関係で代表的な個別事業を示している。
- 部会長：資料4-2において、合併処理浄化槽の設置促進が2つ挙げられている理由はなにか。
- 計画主任：公共下水道区域内と区域外で、国の補助と市単独のものがあり、それを分けて記載している。
- A委員：スペースの関係があるかもしれないが、合併浄化槽の設置が見えるように記載してほしいと思う。
- 事務局：今一度、資料を確認してみると、基本計画の事業メニュー下の記載内容が資料4-2の記載内容と合致していないようであるので再度、整理したい。個別事業をピックアップして記載していきたいと思う。
- 部会長：そうであれば、全体的に見直す必要があるかと思う。「公共下水道事業の整備推進」においても個別事業名には2028年度といった具体的な記載はない。
- 事務局：個別事業ではなく事業概要から記載しているためであり、見直したい。
- 部会長：4ページの施策の展開方針は「安全・安心・快適なみちづくりを進めるまち」と表現されているが、「みちづくり」は、ひらがな表記が一般的なのか。
- 計画主任：確認したい。
- 部会長：12ページの「下水道の整備」におけるメッセージについてであるが、下水道にタオルや下着が流れてくることがあるのか。
- 計画主任：頻度としては少ないが、過去に事例はある。
- 部会長：一般的に理解が得られやすい表現を前段に記載したほうが良いかと思う。例えば、「下水道に流してはいけない液体（天ぷら油）や固形物（タオル等）・・・」とではどうか。また、流してはいけないものを流すことで施設等へ悪影響を及ぼすことを記載すれば、市民に伝わりやすいかとも思う。
- 計画主任：担当課としての思いもあるので、表現については検討したい。
- 部会長：では、レイアウトについて意見をいただきたい。特に現状のレイアウトに対して否定的な意見がないようであるので、現状のレイアウトで作成を進めていただきたい。では、「その他」について、事務局より説明をお願いしたい。

(次回の部会について、事務局より説明)

○部会長：審議会全体会について、私は当日、都合が悪く出席できないが、各委員には出席をおねがいしたい。全体を通して、質問や意見はないか。特に意見が無いようであるので進行を事務局にお返りする。

## 閉会

●事務局：以上をもって、第4回部会を閉会する。第4回審議会全体会は、8月24日(木) 14:00 から市役所にて開催する。

以上